

NPO野生生物調査協会・技術交流会 報告

NPO野生生物調査協会は2009年4月24日（金）に技術交流会を開催いたしました。参加者は（株）緑生研究所6名、（株）地域環境計画4名、（株）環境指標生物7名の合計17名です。講師には内野秀重氏（株式会社プレイス）を招き、函師小野路歴史環境保全地区および東京都小山田緑地をフィールドに、多摩丘陵の植物特性について学びました。



観察会の実施状況

【テーマ】：「町田北部丘陵植物観察会」

函師小野路歴史環境保全地区および東京都小山田緑地をフィールドに、多摩丘陵の植物特性について学ぶ。

【概要】

- 期日：2009年4月24日（金）
- 天候：晴れ
- 講師：内野秀重氏（株式会社プレイス）
- 参加者：合計17名（緑生研究所6名 地域環境計画4名 環境指標生物7名）
- 集合場所：JR・小田急町田駅バスセンター12番乗り場ー西友近くー
- 集合時間：9時40分（9時50分発・バス代280円）
- ルート：町田駅（9:40集合）→（神奈川中央交通バス 函師・五反田経由鶴川駅行き）
結道→五反田谷戸→小野路城址→奈良ばい→小山田緑地（昼食）→梅木窪分園→小田急
多摩線唐木田駅（16:00頃解散）（概況は末尾添付資料参照）

【結果報告】

主な観察のポイント

<バス停～五反田谷戸>

- ・町田氏周辺では珍しいというシロバナタンポポ、アカメヤナギなど
- ・オニタビラコ
 - アオオニタビラコ、アカオニタビラコに分けられるという最近の研究がある。

<五反田谷戸>

- ・クロカワズスゲ、ノゲヌカスゲ、モエギスゲ、マツバスゲ、シバスゲ、コジュズスゲ、ヒメカンスゲ、ベニカンスゲ、アゼスゲなどのスゲ属植物の見分け方
- ・カナビキソウ、ヒメハギ、コガンピ、シランなどの希少植物。
 - スズサイコ、ヤマサギソウ、カセンソウ、カキランなどもみられる。以前はモウセンゴケ、アズマギクなどもあったが絶滅してしまったとのこと。



五反田谷戸の状況

<小野路城址付近>

- ・キンラン、ヒメドコロ、タマノカンアオイなど
- ・ヤブザクラ (エドヒガンとマメザクラの推定自然雑種)
 - 葉の縁に重鋸歯があること、蜜腺が葉身基部にあること、葉の縁に毛がないこと (よく似たホシザクラにはある)、葉柄が有毛であること、花期が3月下旬であることなどを教えていただいた。
- ・オオイタチシダ
 - アツバオオイタチシダ、ベニオオイタチシダ、ツヤナシオオイタチシダなどいくつかの系統に分けられる。



小野路城址付近（ヤブザクラの観察）

<小野路城址～小山田緑地>

- ・カマツカ、キレバニガナ、ニセカイツリ（カイツリグサは2型に分けられる）、ホタルカズラなど
- ・イネ科イチゴツナギ属（ミゾイゴツナギ、オオスズメノカタビラなど）
→ 講師の内野氏からイチゴツナギの検索表が配られました。感謝！！

<小山田緑地>

- ・コケリンドウ、ヒロハノカワラサイコなどの希少植物。
- ・ヌカボ、シロバナのスミレ（アケボノスミレと思われる）

<小山田緑地～唐木田駅>

- ・タマオオスズメノカタビラ、タチヤナギ、バッコヤナギ、ヤクナガイヌムギ（分ける必要はないという海外の研究もあるそうです）、ノニガナなど

多摩丘陵の里山環境を色濃く残す場所で、当該フィールドに詳しい講師からの解説・案内に恵まれ、多岐にわたる分類群・視点から技術的向上と交流を深めることができた。

会員それぞれに得意分野があり、文字通り充実した技術の交流が図れた。今回は植物観察会だったが、昆虫類専門技術者の参加もあり、ミヤマセセリなどの昆虫も観察することができた。今後もこのような会を企画することで、会員の技術向上や情報交換、相互交流の場として機能していくことが期待される。

以上。

小田急唐木田駅



結道バス停